Macintosh HD:Users:atsushi:Dropbox:UBIAS_ICA:画像データ:IARlogo_trim.eps２０２３年度 滞在型海外研究者招へい事業 申請書

【受入研究者】

|  |  |
| --- | --- |
| 部局名 |  |
| 専攻・部門名 |  |
| 受入研究代表者氏名（職名） | ( ) |
| 招へい期間 | 年　　月　　日〜　　　年　　月　　日 ( 日間) |

【招へいする海外研究者】

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | ﾌﾘｶﾞﾅ |
|  |
| 年齢 |  |
| 所属機関名 |  |
| 専攻・部門名 |  |
| 現職名 |  |
| 博士の学位 | 有 　（　　年取得）  無　　取得学位：　　　　(博士以外の学位を記載) |

【招へいする海外研究者】（２人目以降は該当がない場合は空欄）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | ﾌﾘｶﾞﾅ |
|  |
| 年齢 |  |
| 所属機関名 |  |
| 専攻・部門名 |  |
| 現職名 |  |
| 博士の学位 | 有 　（　　年取得）  無　　取得学位：　　　　(博士以外の学位を記載) |

【招へいする海外研究者】

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | ﾌﾘｶﾞﾅ |
|  |
| 年齢 |  |
| 所属機関名 |  |
| 専攻・部門名 |  |
| 現職名 |  |
| 博士の学位 | 有 　（　　年取得）  無　　取得学位：　　　　(博士以外の学位を記載) |

【招へいの目的と計画】

|  |
| --- |
| 招へいの目的と計画の概要を簡潔に記述してください。 |
|  |
| 今後の研究計画について、招へい研究者との関わりを明らかにし、国内外のインパクト、本学にとっての効果と利点、我が国における学術研究の進展への寄与等の観点から言及してください。 | |
|  | |

【シンポジウムと交流事業について】

|  |
| --- |
| 具体的な招へい期間と期間中に開催する国際研究会(シンポジウム)について、招へいする海外研究者および国内招へい者についての役割を交えて記述してください。また、本研究会の国内外へ与えるインパクトについて言及してください。また、応募要項別表に記載されている交流事業の中から少なくとも一項目を選択し、具体的な計画と準備状況について記述してください。 |
|  |

【申請額】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 希望する申請額とその内訳を記述してください。他の財源を併用する場合も、本事業で提供する経費の使徒を明確にしたうえで、総額経費を記述してください。(欄が足りない場合は適宜追加してください) | | |
| 経費区分 | 使用目的 | 金額（千円） |
| 本事業経費 | 海外招へい研究者往復旅費（　人分） |  |
| 海外招へい研究者滞在費（　　人× 日分） |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| **申請額合計** |  |
| 他経費  (経費の種類を記述してください) |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| 合計 |  |
| 総計 | |  |

【受入体制について】

|  |
| --- |
| 招へい研究者の受入体制について該当するものにチェック、項目３は記入してください |
| １．研究室内で居室を与えることが　　できる できない（理学B館あるいは高等総合研究館の居室を希望）  ２．部局内等の受入に対する協力体制 |
| 宿泊施設の見通しについて該当するものにチェック |
| ない（名古屋大学内の施設を利用）  ある（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ※原則、名古屋大学内施設を利用してください。 |

【その他】

|  |
| --- |
| 人権の保護及び法令等の遵守への対応（該当するものにチェック）  本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。  例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。  なお、該当しない場合には、その旨記述してください。 |
| 該当あり  該当がある場合には左記にチェックの上、対応を下記に記入してください。  該当なし  該当がない場合には左記にチェックをしてください。 |

【招へい研究者について】

(2人以上いる場合は、氏名と下記項目１〜５の書式をコピーして各人について記入してください)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 (Family) (Last) (Middle)  氏名（姓）　　　　　　　　　（名）　　　　　　　　　（漢字圏のみ） | | |
| **1. 主な学歴** | | |
| 学位 | 取得機関(所在国) | 取得年 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| **2. 主な職歴** | | |
| 期間 | 機関、部局 | 職名 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| **3.代表業績**（代表的な著書、論文などについて記載し、招へい者に下線を引くこと。10件以内） | | |
|  | | |

|  |
| --- |
| **4. 受賞履歴**（和文または英文で末尾に受賞年を記入。複数併記する場合は、主要なものから順にあげてください。フェローシップは含みません） |
|  |
| **5. 予備交渉** |
| 1. 候補者との関係  直接の面識がある。  現在、継続的に共同研究を行っている。  以前、共同研究を行ったことがある。  研究室訪問、学会、シンポジウム等で知り合った。  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  直接の面識はない。  メール等で継続的に研究成果のやり取りをしている。  共同研究者等から紹介された。  申請者が候補者の研究を知り、連絡を取った。  候補者が申請者の研究を知り、連絡を取った。  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （補足説明）  2. 招へい計画に関する事前交渉の状況  十分行われている。  ある程度行われている。  これから行う予定  3. その他特筆事項があれば記入してください |